

# 2017年12月期 第2四半期決算

---

株式会社アプリックス  
2017年8月14日

# 17年12月期第2四半期 累計P/L（連結）



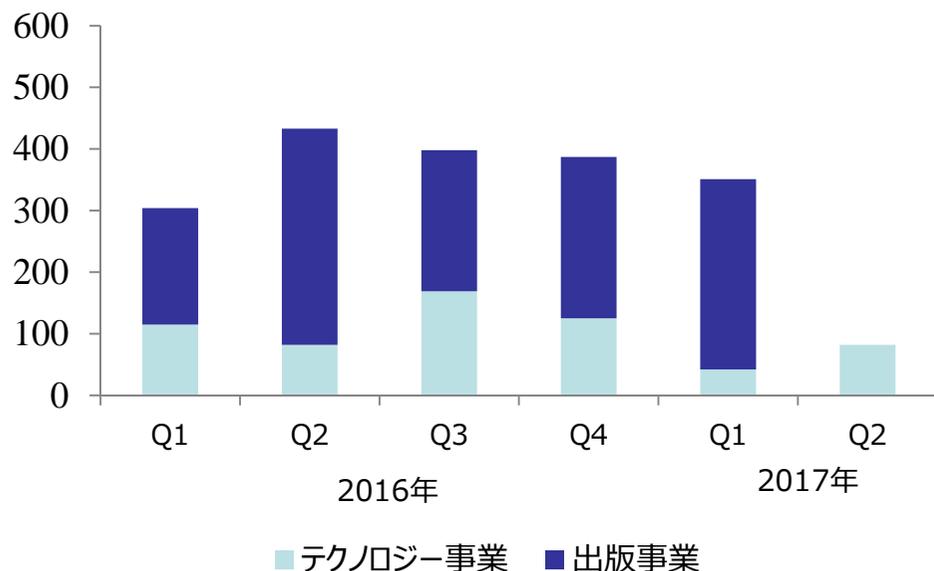
（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益
16年12月期 Q2累計実績(A)	739	▲590	▲608	▲618
17年12月期 Q2累計実績(B)	434	▲201	▲218	▲707
増減額 (B-A)	▲305	+389	+390	▲89
増減率 (%)	▲41.3	-	-	-

- 継続したコスト削減の効果で営業利益は389百万円改善
- 2017年3月31日に実施した出版事業子会社3社の株式譲渡により、関係会社株式売却損350百万円を含む特別損失463百万円が発生したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期と比較して減少。

# 17年12月期第2四半期 売上高セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2016年	2017年	増減率
	Q2	Q2	
テクノロジー事業	82	82	±0%
出版事業	351	0	—
(売上高合計)	433	82	▲81.0%

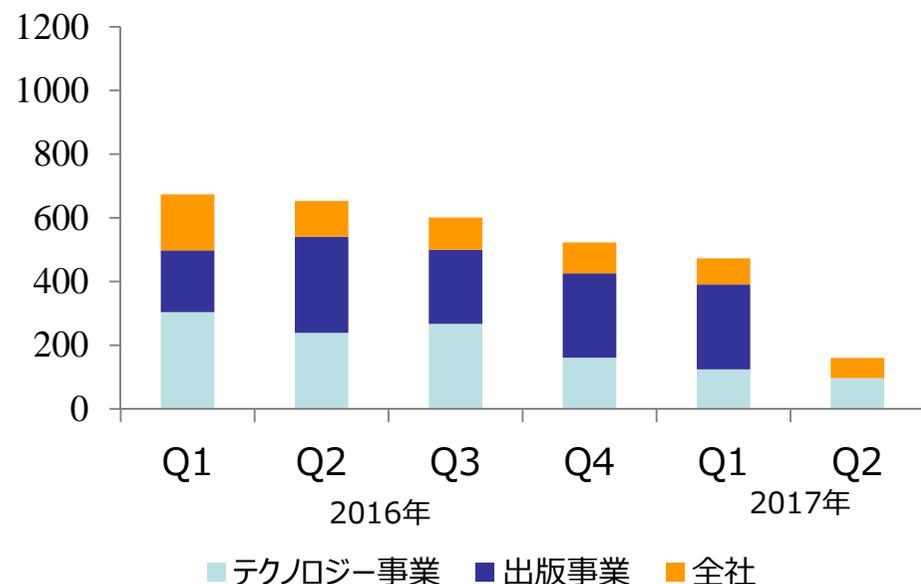
- テクノロジー事業については、2016年Q2との比較では横ばいであるものの、新経営体制による売上向上施策の結果、2017年Q1より大幅に増加
- 引き続き新製品の提供開始、及び広報宣伝活動の更なる強化等により売上拡大を目指す。

※出版事業については、2017年3月31日に、出版事業に属するアプリックスIPパブリッシング株式会社、フレックスコミックス株式会社及び株式会社ほるぷ出版の全株式を譲渡。

# 17年12月期第2四半期 営業費用推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2016年 Q2	2017年 Q2	増減率
テクノロジー事業	239	97	▲59.4%
出版事業	302	0	—
全社費用	112	63	▲43.7%
(営業費用合計)	655	160	▲75.6%

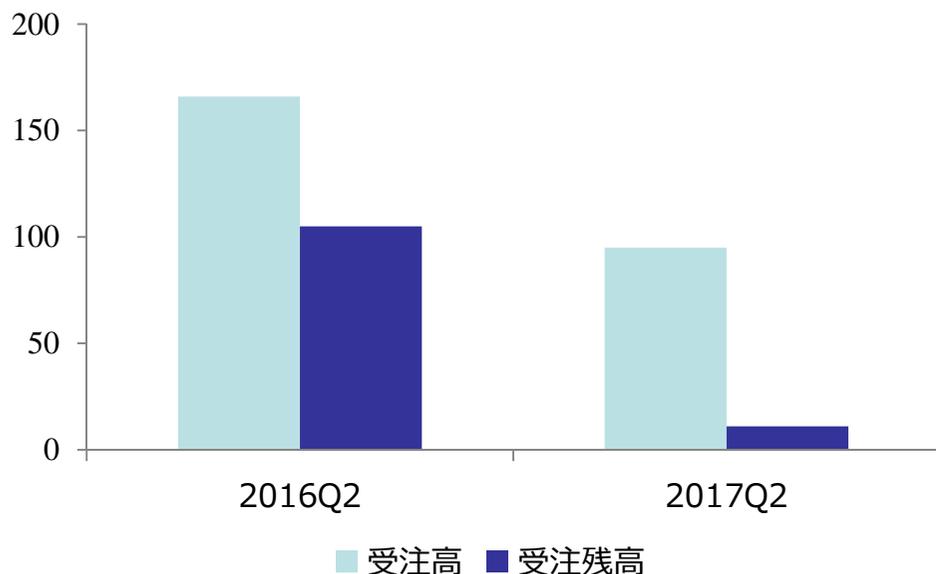
- 出版事業に属する子会社3社の株式譲渡により大幅に営業費用削減
- 本社等で複数使用しているフロアについて一部中途解約を実施する等、固定費等の削減を目的とした継続的なコスト削減策を実施

以上の理由により、前年同期より営業費用は75.6%削減

# 17年12月期第2四半期 受注高・受注残高



単位：百万円



(単位： 百万円)	2016年	2017年	増減率
	2Q	2Q	
受注高	166	95	▲42.8%
受注残高	105	11	▲89.5%

- 受注高及び受注残高の主な減少要因は、2016年Q2におけるテクノロジー事業の受注額に大口のソフトウェア開発案件の受注が含まれていたことから、直前四半期である2017年Q1の受注額8.8百万円と比較して大幅に増加したものの、結果として前年同四半期である2016年Q2と比較して減少。

## 17年12月期通期業績予想（連結）



(単位：百万円)	売上高	営業利益
2016年12月期(A)	1,526	▲929
2017年12月期 業績予想(B)	1,054	12
増減額 (B-A)	▲472	+941
増減率 (%)	▲30.9%	-

# 今後の重点施策

### 第2四半期決算の総括

- ✓ コスト削減についてはひと段落 → 昨年度からのIP戦略室廃止、SoC事業撤退、出版事業売却、オフィスフロア削減等、外科手術は一旦終了
  
- ✓ 今後の重点施策
  1. IoTソリューション案件の受注拡大
  2. 案件を確実にマネタイズするための社内体制の強化

アプリックスの3つの強みを活かした受注拡大

① 組み込みソフトウェア技術力

② 米国での先端的な実績

③ 大規模サービス運用実績

### ① 組み込みソフトウェア技術力

- ✓ 30年以上におよぶ組み込みソフトウェア実績・技術  
IoTは“組み込み”⇒ アプリックスは、カーナビ、携帯、家電など30年以上にわたって、組み込みにかかわるアプリ、プラットフォーム開発の実績・ノウハウを保持。
- ✓ 現状：北米向け浄水ソリューション（Franke, Aquasana）、国内メーカー（ブラザーエンタープライズ）など製品出荷をすでに開始。
- ✓ 今後：既存顧客の深堀りにくわえて国内外新規顧客の試作・PoCの実施。

### ② 米国での先端的な実績

- ✓ アプリックスでは10年近く米国での営業活動を続けており、スマホを活用した浄水器フィルター交換の仕組み (Aquasana)、Amazon Alexaを使った空気清浄機 (Guardian Technologies) など米国のクライアントとの先端的な実績あり。
- ✓ 現状：米国においては浄水器メーカーからの継続的な受注、ならびにAmazon Alexa対応ソリューションの拡大。
- ✓ 今後：日本での今後のAmazon Alexaサービスに向けて準備段階。

### ③ 大規模サービス運用実績

- ✓ ネスレ日本の「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i [アイ]」のIoTプラットフォームをアプリケーションが一括して開発・運用。
- ✓ 現状：同サービスについては引き続きサービス向上のための開発・運用フェーズが続く。
- ✓ 今後：国内大手顧客に対してIoTサービス運用を提案、コンサルティング・PoCをへて、サービス運用開始を目指す。

- ✓ 背景：4月からの新経営体制において、お客様によりよいサービスを提供するために、社内体制を見直し、強化
- ✓ 3つの施策
  1. **製販一体**：営業と開発の垣根をなくし、一緒にお客様に提案する体制を確立。
  2. **執行役員の選任**：ファーム・サーバー開発、アプリ開発、営業の重点3分野で執行役員を選任、現場への権限委譲ならびに機動的に意思決定できる体制に。
  3. **働き方改革**：リモートワークの試験導入でフレキシブルなワークスタイルの提供。

### ■ 執行役員選任によるマネジメント体制の強化

- 新たな執行役員を選任し、適格な意思決定と迅速な業務執行を強化

#### <マネジメント体制>

代表取締役	長橋	賢吾
取締役	石黒	邦宏
社外取締役	平松	庚三
常勤監査役	根本	忍
社外監査役	新田	喜男
社外監査役	山田	奨

執行役員	長橋	賢吾
執行役員	石黒	邦宏
執行役員	高木	健 (IoTソリューション事業部 営業部部長)
執行役員	白川	貴裕 (IoTソリューション事業部サーバー・F/W開発部部長)
執行役員	山田	伸重 (IoTソリューション事業部アプリケーション開発部部長)

## IoTソリューション事業

売上 = 地域 × カテゴリ

{  
日本  
米国

{  
ビーコン  
サービス  
レベニューシェア



## ビーコン

ロケーションビーコンはMyBeacon®として国内ネット販売  
16年12月に価格改定(1個あたり1200円→2500円)  
ビーコン販売でも利益を出せる体制に  
お知らせビーコンは、家電機器への組み込み中心

## サービス

国内メーカー等とのタイアップでアプリ・クラウドを提供

**食品系:** ユーザの嗜好把握のため今後コーヒーメーカー等  
機器とスマホとの連携が拡大の見込。

ビーコン+サービスでスマホ連携の需要を取り込む

**テレマティクス:** 自動車保険におけるユーザの乗車履歴等  
をスマホアプリを通じて把握する需要が拡大、  
これまでの実績をもとに保険会社とのタイアップを目指す

海外子会社Aplix Corporation of America（米国カリフォルニア州）が中心となり  
米国・欧州向けにIoTソリューションを提供

### ビーコン

お知らせビーコンが主流で、アプリ・クラウドとセット。  
日本にくらべて、製品導入までの意思決定スピードが速い。  
すでに商用製品も出荷しており、顧客数を拡大。



### サービス

**浄水器**：Aquasanaなど採用実績があり、既存顧客からのリピート  
オーダーに加えて、新規顧客へのソリューション展開。

**ペット・空気清浄機**：Our Pet's, Guardian社など既存顧客からの  
リピートオーダーにくわえて、新規顧客展開を  
実施。米国Amazon.comのAlexa Skillにも対応。

# 選択と集中

- 出版事業（コミック、児童書）については非中核事業であることから切り離しの検討を進めた結果、2017年2月23日の取締役会にて、アプリクスIPパブリッシング株式会社、フレックスコミックス株式会社及び株式会社ほるぷ出版の全株式の譲渡を決定し、平成29年3月31日に本株式譲渡を実施。
- IP戦略部門、半導体開発部門は廃止、海外拠点も米国以外すべて撤退し、IoTソリューションにリソースを集中。

# コスト削減

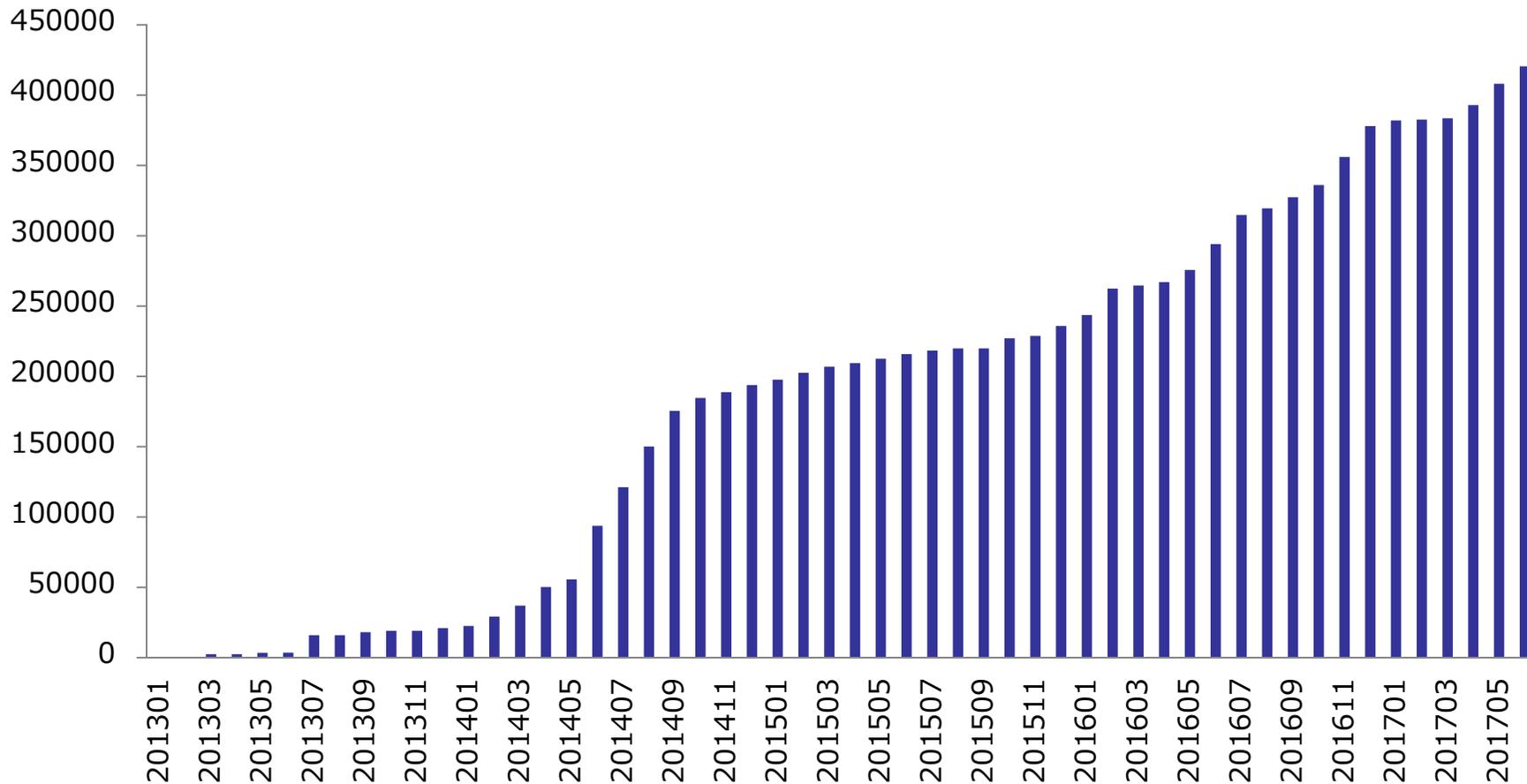
- オフィス賃料、業務委託費等、あらゆるコストについて見直しを実施、不要不急のコストを抜本的に削減。

# BLEモジュール出荷台数



17年6月に、BLEモジュール累計出荷台数42万台を突破

(単位：台)



出所：会社資料

BLEモジュール、JMシリーズ、MyBeaconシリーズ、その他を合計

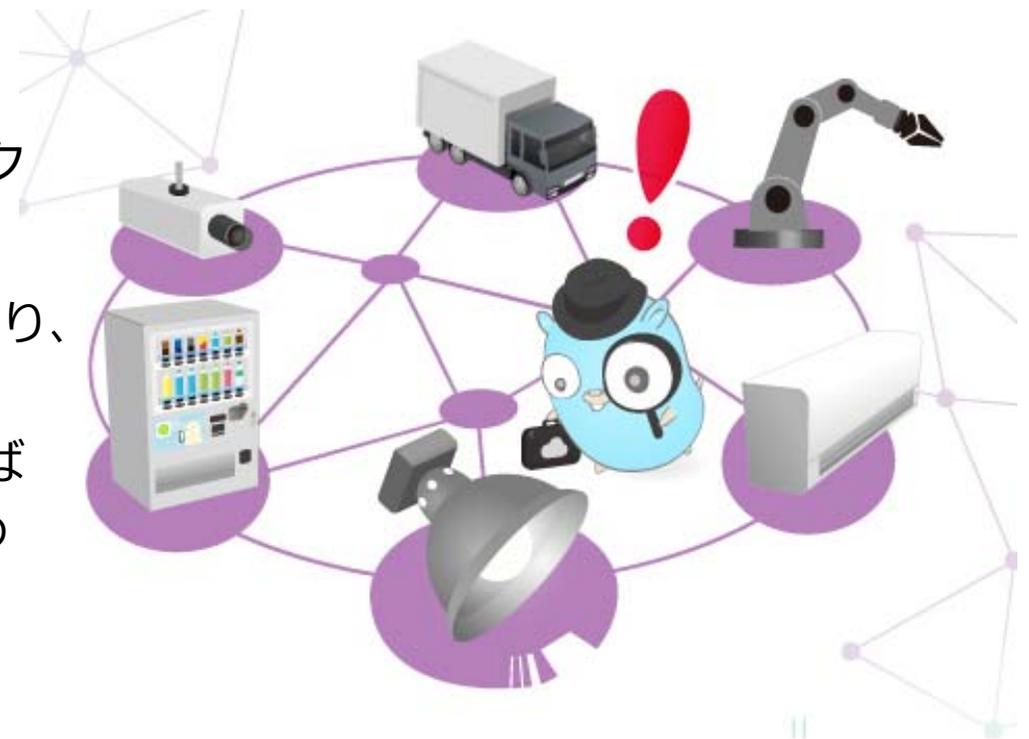
2017年4月27日発表

## IoTセキュリティスキャナー「Gumwheel™(ガムホイール)」を 5月から提供開始

「Gumwheel™ (ガムホイール)」は、ネットワークに接続されたIoT機器をまとめてスキャンし、セキュリティリスクがある機器を検出するソフトウェアです。

「Gumwheel」はGo言語で開発されており、LinuxやWindowsが動作するPCなどにインストールし、ネットワークにつなげば即スキャン開始できます。IoT機器側での準備は必要ありません。

対象のIoT機器や導入場所を選ばず、簡単に使うことができる手軽さが特長です。



図内のGopher(Go言語のマスコットキャラクター)は株式会社アプリックスが作成しました。Gopherの原作者はRenée French氏です。

2017年6月5日発表

### Amazon Alexa対応家電向けトータルIoTソリューションを発売 ～音声で操作できる家電の開発を支援～

米国Amazon.com, Inc. が提供する音声認識機能「Alexa」を利用する家電の需要が高まりつつあることを受け、家電メーカー向けのトータルIoT（Internet of Things）ソリューションを発売しました。

本ソリューションには家電と「Alexa」との連携に必要なAlexaスキルをはじめ、IoTモジュール、クラウドシステムなどが含まれています。

Alexaスキルや通信用のハードウェアなどの開発をアプリックスが担当することにより、音声で操作できる家電のスピーディな市場投入を支援します。



2017年6月12日発表

### Amazon Alexaを利用したUX改善に関する共同研究を 株式会社チェンジと開始 ～音声インタフェースによる新しいビジネスチャンスの創出へ～

アプリックスと、株式会社チェンジ（本社：東京都港区、代表取締役：福留大士）は、米国Amazon.com, Inc.が提供する音声認識機能「Alexa」を利用して、各種製品やサービスのUX（ユーザー体験）を改善するための共同研究を2017年6月に開始しました。

まず両社で、音声による発注が可能となることにより、eコマース（電子商取引）がどのように変化するかについての研究を進めます。国内において「Alexa」にいち早く取り組んできた両社が、相互の強みを持ち寄って共同研究を実施することにより、音声で操作できる、UXに優れた新しい製品やサービスを両社で開発し、国内外の顧客に提案していく予定です。

2017年2月20日発表

### BLEモジュール製品「MyBeaconシリーズ近接域特化型MB004 At」の 後継機種「MB004 At-DR1」発売

生産終了していたBLEモジュール製品「MyBeaconシリーズ 近接域特化型 MB004 At」について、お客様からの高い要望などを受け、2017年4月1日から当社ECサイト「mybeacon-store」で、後継機種「MB004 At-DR1」を発売しました。

「MB004 At-DR1」は隣接設置などの用途に適したBeaconで、電波が届く範囲を最小で約15cm、最大でも約2mに限定しています。

展示会場や商品棚などで近距離に複数台設置していても電波干渉が抑えられ、近くを歩く人のスマートフォンに、最も近い「MB004 At-DR1」からの情報をスムーズに表示し、切り替えることができます。



2017年6月21日発表

## アプリックスの浄水器向けIoTソリューション採用の フィルター・モニタリング・デバイス、世界的キッチンメーカー Frankeから発売

アプリックスの浄水器向けIoTソリューションが採用されたフィルター・モニタリング・デバイス「FM100」が、Franke から発売されました。

「FM100」においてアプリックスは、以下のIoTソリューションの開発・提供を行っています。

### ■ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント

アプリックスの「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」に対して、「Franke」ロゴの追加など、「FM100」向けのカスタマイズを行ったものです。浄水器を買い替えたり改造したりすることなく既存の浄水器をIoT化できることが、「FM100」の大きな特長です。

### ■iPhone／Android向けアプリ「StillPure™ by Franke」

### ■クラウドシステム

## 補足資料 - Appendix

# 会社概要



## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

1,861百万円 [2017年3月末現在]

## 売上高

1,526百万円（連結） [2016年12月期]

## 従業員数

37名（連結） [2017年6月末現在]

## 役員

代表取締役 兼 取締役社長	長橋 賢吾
取締役	石黒 邦宏
社外取締役	平松 庚三
常勤監査役	根本 忍
社外監査役	新田 喜男
社外監査役	山田 奨

執行役員	長橋 賢吾
執行役員	石黒 邦宏
執行役員	高木 健
執行役員	白川 貴裕
執行役員	山田 伸重

## 事業内容

テクノロジー事業

## グループ会社

Aplix Corporation of America 他

### **長橋 賢吾（代表取締役 兼 取締役社長）**

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月に当社取締役・CFO・チーフエコノミスト、2017年2月より当社代表取締役 兼 取締役社長。

### **石黒 邦宏（取締役CTO）**

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。株式会社ACCESS取締役CTOを経て、2015年4月に当社CTO、2016年3月より当社取締役に就任。



## セキュリティ

ネットワーク上のセキュリティ  
リスクのあるIoT機器をまとめて  
検出。

IoTセキュリティスキャナー  
「Gumwheel」



## デバイス

Bluetoothモジュール  
「JM1L2S」  
Wi-Fiモジュール、国内シェア  
No.1  
「MyBeaconシリーズ」



## アプリ

iOS、Android対応。IoTデータを  
取得するビーコンサービスアプ  
リ「hubea」を提供、クラウド  
との連携も可能。



## クラウド

すべてのIoTデータを蓄積したプ  
ラットフォームから、必要に応  
じてデータを提供。**ビッグデー  
タを活用した新たなサービス**  
を創造します。



株式会社アプリックス  
<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。